

## 検討会の趣旨及び検討スケジュールについて

### 1 趣旨

我が国が世界遺産条約を締結後、我が国最初の世界自然遺産として屋久島及び白神山地が登録されてから10年が経過し、この間、世界遺産に対する国民の関心は一層の高まりを見せています。また、現在、世界遺産委員会においては、各国が世界自然遺産の推薦を行う場合、暫定リストの事前提出が義務化される方向で検討がなされているところです。

このような状況を踏まえ、我が国国内に今後5年程度の間新たに世界自然遺産として推薦できる地域があるかどうかを学術的見地から検討するため、環境省と林野庁が共同で学識経験者からなる検討会を設置します。

各国政府として当面5～10年程度の間推薦を予定する候補地の一覧

### 2 検討会メンバー

- ・岩槻邦男：放送大学教授（植物分類）
- ・上野俊一：国立科学博物館名誉研究員（動物分類）
- ・大沢雅彦：東京大学教授（植物生態）
- ・小泉武栄：東京学芸大学教授（自然地理）
- ・土屋 誠：琉球大学教授（海洋生物）
- ・三浦慎悟：森林総合研究所東北支所地域研究官（哺乳類生態）
- ・吉田正人：日本自然保護協会常務理事/IUCN日本委員会事務局長（自然保護制度）

50音順

### 3 今後の予定

3月 第2回検討会

4月 第3回検討会

5月 第4回検討会

第4回検討会までに、我が国において世界自然遺産としての要件を満たしうる地域を学術的見地から抽出し、その中から社会的条件などを加味した上で、今後5年程度の間世界自然遺産として推薦できる地域があるかを検討します。